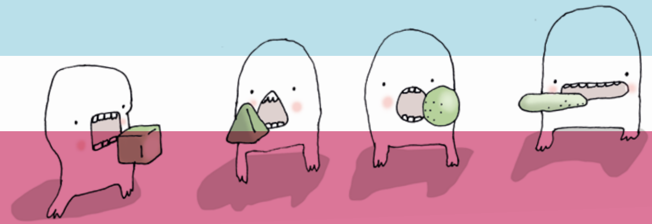


とびらプロジェクト
オープン・レクチャー
vol.7

Eating Designer イーティング・デザイナー

マライエ・フォーゲルサングが語る

食べることとデザイン

EATING × DESIGN

2017年7月1日（土）10:30-12:30 東京都美術館 講堂

Marije Vogelzang

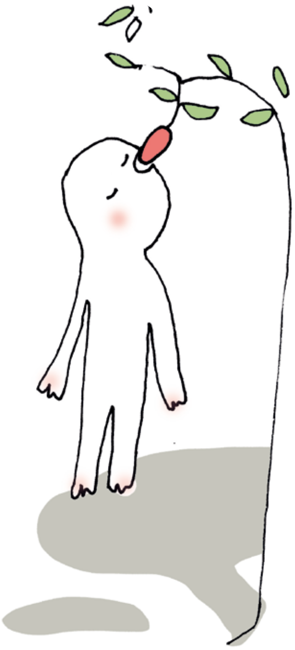
《SHARING LUNCH》2008, AXIS Gallery, photo by Kenji Masunaga / illustrations by Marije Vogelzang

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM　東京藝術大学

イーティング・デザイナー
Eating Designer マライエ・フォーゲルサング が 語る

食べること × デザイン

EATING × DESIGN

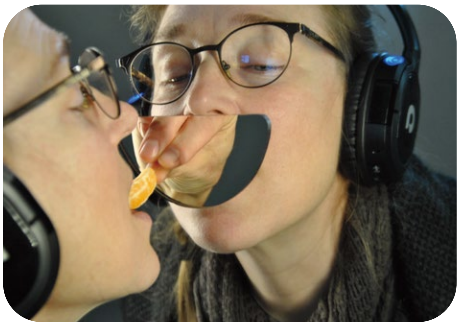


「とびらプロジェクト」では、美術館を拠点にアートを介して「人の関わりの回路」を豊かにしていくことを目指し、さまざまな活動に取り組んできました。この活動から生まれた関心や私たちが目指す社会の姿について、広く一般の方々と考える機会を設けたいと考え、毎年「とびらプロジェクトオープン・レクチャー」を開催しています。

第７回目となる今回は「食べること×デザイン」をテーマに、世界各地で「Eating（食べる行為）」をテーマとするワークショップや展示を行っているオランダ人デザイナー、マライエ・フォーゲルサングさんをお招きし、「食べるという体験そのものをデザインし、人々をつなぐこと」について語っていただきます。「食べ物そのものは胃の中に入ってしまうけれど、食べることは脳を活性化し、記憶と感情を強くかきたてることができる」と言うマライエさん。日本の食文化にも大きな刺激を受けているそうです。デザイナーとして社会的課題にもチャーミングなアプローチを行う彼女のお話に、ぜひご期待ください。

①《SHARING LUNCH》2008, AXIS Gallery, photo by Kenji Masunaga

②《A Couple of Little Things》2016, Olo restaurant, photo by Foodcamp Finland



③《Edible Reflections》2016, Statarmuseet, photo by Marije Vogelzang

開催日 ◎ **2017年7月1日（土）**

会　場 ◎ **東京都美術館 講堂**　　時 間 ◎ **10:30-12:30**　　開 場 ◎ **10:00**

定　員 ◎ **220名**（参加費無料、事前申込制［先着順］※定員になり次第締め切ります。）

申　込 ◎ **http://tobira-project.info**
「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の申込フォームからお申込みください。

同時通訳あり

企画・運営 ◎ 東京都美術館 × 東京藝術大学　とびらプロジェクト

主催 ◎ 東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学　　後援 ◎ オランダ王国大使館

問い合わせ ◎ 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36　東京都美術館 アート・コミュニケーション係
TEL：03-3823-6921（東京都美術館 代表）　mail：acinfo@tobikan.jp

マライエ・フォーゲルサング　Marije Vogelzang

1978年オランダ・エンスヘデ生まれ。2000年デザインアカデミー・アイントホーフェン卒業。2004年ロッテルダムに実験的なレストラン「プルーフ」を設立。2011年「プルーフ」を売却し、デザインワークに専念。レストランのコンセプト開発から医療や教育など様々なフィールドにおいて、食べる行為にまつわるデザイン提案を展開するイーティング・デザインのパイオニア。2014年デザインアカデミー・アイントホーフェンのフード／ノンフード学部の学部長に就任。日本では、2008年に初の個展「eating+design デザインにできること2」をアクシスギャラリーで開催。2014年には六本木アートナイトでワークショップを開催。

表紙及び①：2008年アクシスギャラリーでの様子、②：2016年ヘルシンキデザインウィークのプログラムとして行われた参加型作品の一部、③：2016年スウェーデンで行われたワークショップの様子

photo by Ilja Keizer

design by Yuka Matsuo (Nica)